

2022年5月27日～29日晴

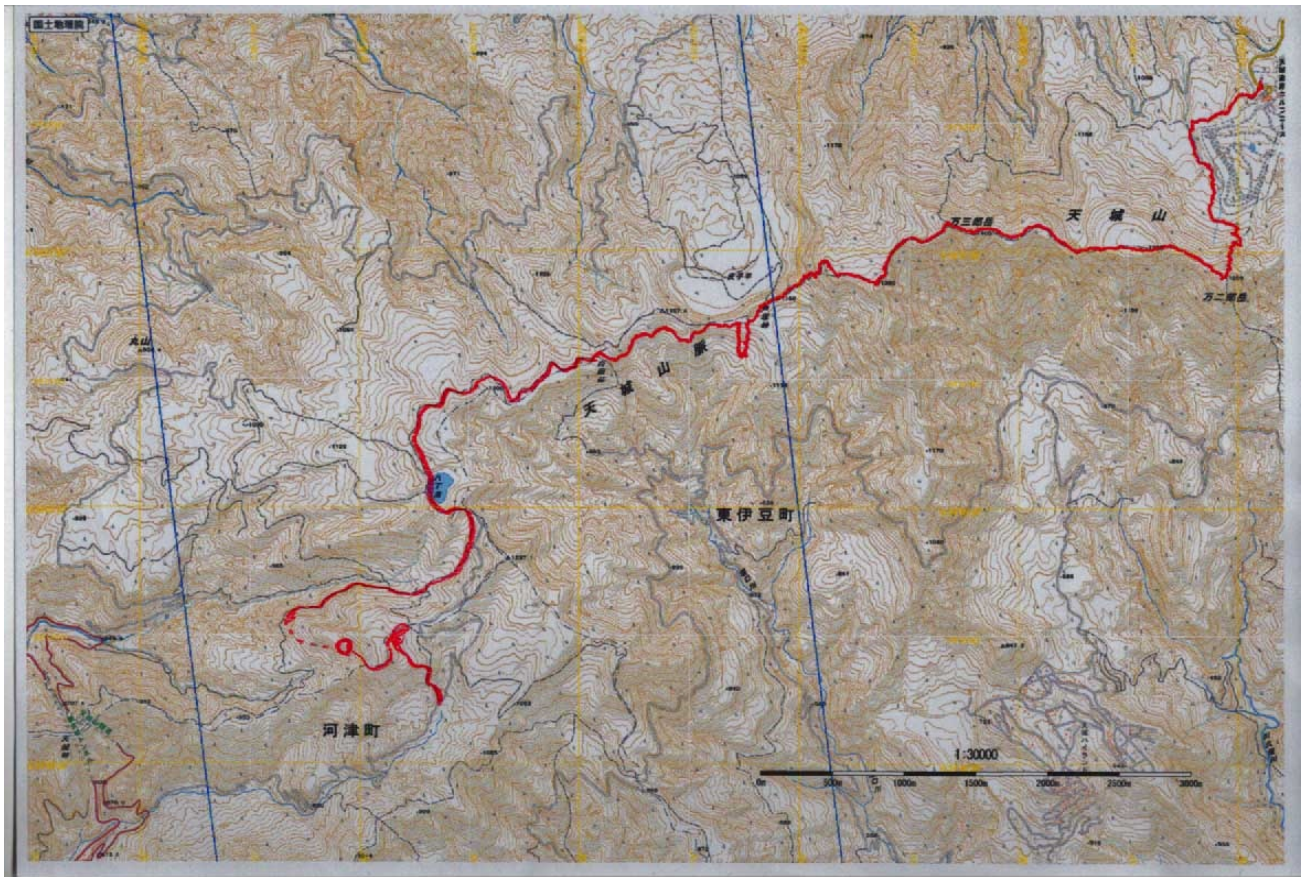
伊豆「天城山縦走」途中撤退
単独行

縦走コースタイム：

5/28 天城高原(9:08)～(9:29)四辻～(10:22)万二郎岳～(10:37)展望所～
(10:55)馬の背～(11:21)石楠立～(12:10)万三郎岳～(12:36)万三郎岳分岐～
(13:10)小岳～(13:58)戸塚峠～(15:14)白田峠～(16:25)八丁池～
(16:37)八丁池トイレ～道間違い～(17:30)ビバーク地

5/29 ビバーク地(5:20)～稜線へ～1168m～尾根下り～ウグイス歩道～
(8:20)八丁池口BS

* 山行軌跡



アプローチ：

5/27 JR島本＝京都＝京都（新幹線）熱海＝熱海＝伊東駅

5/28 伊東駅＝シャトルバス＝天城高原

帰途

5/29 八丁池口＝9:56（バス）昭和の森会館＝10:47（バス）修善寺駅

修善寺駅＝12:01（伊豆箱根鉄道）三島駅＝三島 13:55（新幹線）京都

京都＝島本

山行記：

5月28日(土)

宿泊地から伊東駅に、駅前のバス停に7時前に到着しザックを乗場に置いて場所取りしておく。

バスが到着間際に大勢のグループが詰め掛けてきた、場所を確保していたのでバスには楽に座席を確保できた。

伊東駅から7時55分発でバスが出発する、1時間近くで天城高原に到着し山歩きの準備をして9時8分に歩き出す。

万三郎分岐を過ぎるとみんなに抜かれ最後尾を歩いている、ザックに2泊の着替えも入れているためいつもより5kgほど重くなっている。

戸塚峠を過ぎると対向の登山者とすれ違うようになる、白田峠を過ぎると対向者にも会わなくなり八丁池からトイレを通過して行く分岐も間違いなく通過したと思ったが今までと違って道が悪く岩などを交わしながら行く。

白田峠を過ぎたところでGPSの電源がなくなり、スマホも通信が出来なくなってプリントした地図を頼りに歩く。

標識が有り道間違いはないと思わ羅るが天城峠への方向は道があるとは思えないが仕方なく登って行き完全に迷ってします。

時間も日が暮れて暗くなり始めたので地形が判る間にビバーク地点を決めるその時宿泊予定の民宿から電話があり道迷いで宿には行けないことを告げる、通信はつながる時とつながらない時があるようだ。

着込んでサバイバルシートを巻き付けたが2時ごろが一番寒かった、ビバーク地点から向かい側に尾根が見えていた。

5月29日(日)

尾根の上部を目指し5時20分歩き出す。

尾根の上部で藪漕ぎしながらこの先に登山道があるようだが行く事が出来ない、右側に下れる尾根があるようなので探し廻ると開けた所に出られ木にテープが付けられているので頼りに下って行く。

標識があり八丁池と駐車場への表示があり、体力も消耗しているので駐車場を目指して行くことにした、舗装路に出てすぐに八丁池口BS8時20分頃に辿り着いた。

バスは期間限定であるようで、一番早い時刻は9時56分しかないが待つことにした、暫らくするとタクシーが2台到着した。

一台には数名が乗られ後ろの1台は一人の女性が降りられた、別行動の方で女性は此処から天城高原までいくとのことで何回か登りに来られているとの事であった。

一人になって待合所で待っていると上から二人の男性が下りて来られた、どこから来られたかは聞かなかったが大きなザックではなかった。

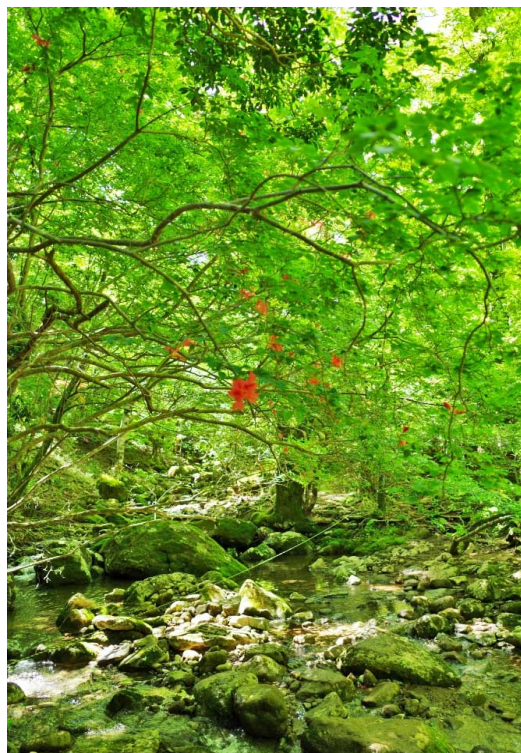
9時56分発のバスが到着すると大勢に登山客が乗っておられた、此処から登り出す方も多いようだ、来たバスに乗って帰途に就く。



伊 東 駅 前 の バ ス 停



天城山縦走路



天城ツツジ



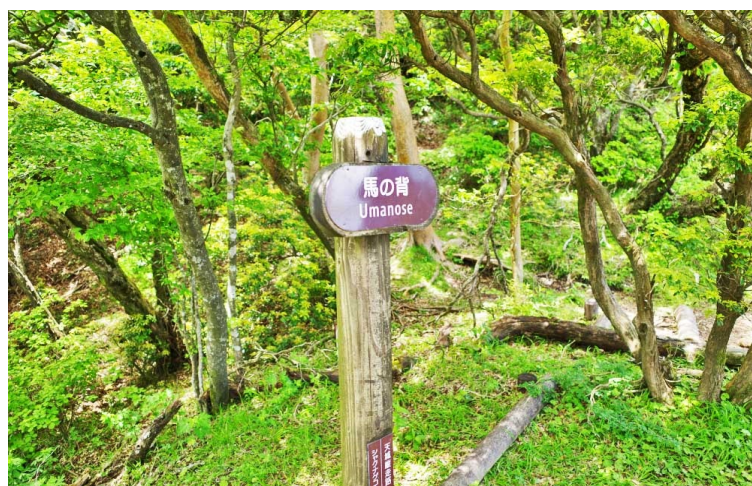
万 二 郎 岳 山 頂



縦走路からの展望



縦走路から富士山を望む



馬の背標識



縦走路より三筋山風力発電機（左奥）



アケビのトンネル（花は終わっていた）



石碓立(はなだて)



万三郎岳山頂



一等三角点



万三郎岳山頂



万三郎岳分岐



片瀬峠

小岳



戸塚峠





白田峠



八丁池





ブナの大木



八丁池口
のバス停

